

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

基本 目 標	重要業績指標（KPI）  （単位）		実績値							基準値 （R1）	単年度 実績値 （R6）	目標値 （R6）	目標達成率	評価		
	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7									
基本 目 標 Ⅰ	若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する															
	生産年齢人口 【数値目標】	人	9000 7000 5000	7971 	7827	7574 7557	7416 7422	7246 7287	7063 7152	7014	7,971	7,063	7,152	99%	B	
	基本施策 1															
	創業者数	人	10 5 0	8 	6	8 7	7 7	1 7	3 7	7	8	3	7	43%	C	
	基本施策 2															
	認定新規就農者数 （産業創造大学卒業者で 認定した者）	人	4 3 2 1 0	2 	2	2	2	2	2	2	2	1	2	50%	C	
	基本施策 3															
	観光消費額	百万円	4000 2000 0	2652 	1828	1973	3700 2352	3700 2305	3800 2505	3900 3900	2,652	2,505	3,900	64%	C	
基本 目 標 Ⅱ	世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む															
	20歳～39歳の人口 【数値目標】	人	3000 2000 1000 0	2442 	2324	2241 2362	2181 2322	2133 2282	2071 2242	2203	2,442	2,071	2,242	92%	B	
	基本施策 1															
	移住者数 （空き家バンクに限る）	人	30 15 0	18 	21	22 25	24	26	28	30	18	13	28	46%	C	
	基本施策 2															
	新築住宅戸数	戸	100 80 60 40 20 0	72 	65	75 65	75 44	75 59	75 36	75	72	36	75	48%	C	
	結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する															
	合計特殊出生率 【数値目標】	人	2 1 0	1.88 	1.20	1.20 1.88	1.21 1.88	1.06 1.88	1.10 1.88	1.88	1.88	1.10	1.88	59%	C	
基本 目 標 Ⅲ	基本施策 1															
	子育て世代包括支援 センターの利用人数	人	10000 8000 6000 4000 2000 0	5071 	7180	7630 7500	8594 7550	8585 7550	7530 7500	7500	5,071	7,530	7,500	100%	A	
	基本施策 2															
	世羅高等学校入学者数	人	200 150 100 50	109 	111	124 110	79 115	89 120	106 125	130	109	106	125	85%	B	
	質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する															
	社会増減数 【数値目標】	人	0 -50 -100 -150	-43 	-67	-122	-30	-24	-18	-11	-4	-43	-70	-11	16%	D
	基本施策 1															
	ケーブルテレビの インターネット加入率	%	100 50 0	36.1 	37.8	52.7 46	51 47	52.2 48	53.3 49	50	36.1	53.3	49	109%	A	
基本 目 標 Ⅳ	基本施策 2															
	せらまちタクシーの 利用者数	人	40000 30000 20000 10000	29214 	24022	29490 22650	29779 27003	30068 26086	30357 26920	30646	29,214	26,920	30,357	89%	B	
	基本施策 3															
	公立世羅中央病院 常勤医師数	人	30 20 10 0	14 	13	16 13	16 14	16 14	16 14	16	14	14	16	88%	B	
	基本施策 4															
	元気な地域づくり 応援事業実施件数	件	10 5 0	0 	0	2	4	6	8	10	0	2	8	25%	D	

**基本目標Ⅰ 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する**

[illegible]

**基本施策1** 創業・事業継承支援、地元事業者支援による地域産業の競争力強化

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)							創業者数			
<b>【1. 創業の促進】</b> ① 新規創業助成金活用数：3件 ② 新規創業利子補給補助活用：7件 ③ 新規創業者：3件 <b>【2. 地元事業者の支援】</b> ① 小規模企業支援事業：12件 <b>【3. 事業承継の支援】</b> ① 事業承継事業：0件    ②人材育成事業：30件 <b>【4. 雇用機会の創出】</b> ①企業立地促進事業：11件 ②お試しオフィス活用 視察件数：3件    活用件数：18件 ③紹介チャンネル掲載事業者：3件	1. 商工会と連携し、補助金・助成事業の継続により中小企業者への支援を行う。 2. 雇用の創出につながる投資に対する支援を行う。 3. 県内の関係機関で構成される「広島県事業継承ネットワーク」における事業を活用し、関係機関との連携や取組を強化。 4. ①企業立地支援を引き続き推進する。 ②「お試しオフィス」を活用し、企業誘致を進めていく。 ③企業紹介動画の掲載数を増加できるよう取組む。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価	
		10	8	6	8	7					43%	C
			7	7								
		0										

住民ワーキング会議からの意見評価 **有効：0人** **やや有効：3人** **有効でない：0人** 住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え

<p>【1. 創業の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●若い人の創業が多い。</li> <li>●創業の相談件数が多い。</li> <li>●既に事業を始めていて、後で補助制度を知ることもある。</li> </ul> <p>【2. 地元事業者の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な支援策が県より先行して実施されていて良い。</li> <li>●生産性が上がる支援として、販売促進だけではなく持続化支援もある。</li> </ul> <p>【3. 事業承継の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワークによる情報共有により、マッチングを支援ができています。</li> <li>●支援の内容を知ってもらう手立てが必要。</li> <li>●事業内容が大変だと事業承継したくない人もいる。</li> </ul> <p>【4. 雇用機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●他市町へのアクセスは良いので、ベッドタウン的な取組みが良いのでは。</li> <li>●若い人の代わりに外国人をより確保しては。</li> <li>●若い働き手がいらない。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創業支援においては、創業者数だけでなく、事業の継続性を重視しています。商工会と連携し、専門的な指導や補助制度の活用を通じて、地域に根差した持続可能な創業を支援します。また、創業を志す方が事業開始前に支援制度を十分に把握できるよう、商工会と連携し、情報発信のさらなる強化に努めてまいります。</li> <li>2. 多くの企業が商工会へ加入されていることから、人材育成や持続化支援など、商工会と一体となって取り組んでまいります。</li> <li>3. 若者の転出や高齢化が進む中、事業承継は喫緊の課題となっています。承継を希望される方々に対しては、専門機関と連携し、円滑な事業承継を支援してまいります。</li> <li>4. 若者の転出が多い現状を踏まえ、世羅高等学校における地元企業合同説明会の継続実施などを通じて、町内での雇用機会創出に積極的に努めてまいります。</li> </ol>
---	---

総合戦略推進会議意見・評価	評価できる：２人 やや評価できる：６人 評価できない：０人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え
---------------	-------------------------------	--------------------

<p>・「県より先行して実施されていて良い」とは分野で言うとか何か。</p> <p>・雇用機会の創出において、外国人の確保についてどう考えるか。</p> <p>・育成就労の特定技能になれば、都市部に流れるため人口確保が困難となる可能性がある。こういった形で外国人に選んでもらうのが課題。</p>	<p>・持続化支援事業において、生産性向上等の取組を商工会と連携して実施しています。</p> <p>・中小企業側と働きたい人との間でアンマッチが起きています。まずは町内の企業周知を行っている。中小企業の希望もあるため、連携し協議してまいりたい。</p> <p>・外国人の確保については、各事業者において取組まれておられます。外国人人材のみならず、労働力確保は地域経済の維持に不可欠であると捉えており、労働力確保に向けた環境づくりに努力してまいります。</p>
---	---

## 基本施策2 将来の世羅町を担う人材の育成

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI） 認定新規就農者数（産業創造大学卒業者で認定した者）									
【1. 農業の担い手の育成】 世羅産業創造大学卒業生で認定新規就農者：1人 【2. 6次産業の推進による人材の確保】 6次産業化支援件数：0件 【3. 介護福祉人材の確保・育成】 紹介フェア参加：500人 福祉用具展示・体験フェアの参加者：約90人 介護福祉士実務者研修受講者：7人 介護職員への研修会参加者：48人	1. 研修生の確保と研修後の就農支援、就農フェアへの参加、農業求人サイトや農業体験を通じ研修生の確保を行う。国の事業を活用し、就農時の資金確保等、早期経営安定化に向けた支援を行う。 2. 地域で実施されるイベント、研修会等の活動支援、県等と連携し、サポート支援事業等の実施。 3. 事業所紹介フェア実施、介護福祉士実務者研修開催、介護人材定着のための研修会の開催、介護人材確保に向けたDVD等によるPR活動の強化。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		4								50%	C
		3	2	2	2	2	2	2			
		2									
		1	1	1	0	0	1				
		0									

住民ワーキング会議からの意見評価	有効：3人	やや有効：1人	有効でない：0人	住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え
------------------	-------	---------	----------	------------------------

<p>【1. 農業の担い手の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地元の営農法人との連携が取られていて担い手側も安心。</li> <li>●定住にこだわらず通い農や半農半X、退職後のUターンなどの違った視点も必要。</li> <li>●農業の担い手育成の取組みをもっと世羅町全体に知らせることが必要。</li> </ul> <p>【2. 6次産業の推進による人材の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●インターンシップで関係人口として関わってもらった取組が大変良かった。</li> <li>●今まで長く続いてきた6次産業、人がつながり続けているところが良い。</li> <li>●農業体験も商品として考えて行きたい。</li> </ul> <p>【3. 介護福祉人材の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護人材確保に向けたDVDの内容がすばらしかった。</li> <li>●関係人口としてつながりを持ち将来Uターンしてもらう。Uターンした時には支援・補助が必要。</li> <li>●高校生、中学生へのPRが必要。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>引き続き集落法人等のニーズや今後の運営方針等の把握に努めるとともに、多様な担い手の参画を含め、農業の担い手育成に関する取組みの具体化を、農業振興ビジョンの見直しの中で図っていきます。また、その取り組みを町内外に積極的に発信していくよう努めます。</li> <li>地域で実施されるイベントや研修会等の活動支援も継続し、地域内外の交流を促進することで、将来を担う人材の確保に繋げてまいります。</li> <li>介護人材の確保に向けて、現在の取組の継続とあわせ、次世代の人材育成に向け、若年層に介護の仕事に関心を持っていただくため、介護の仕事の魅力や、やりがいを発信してまいります。</li> </ol>
--	--

総合戦略推進会議意見・評価	評価できる：４人	やや評価できる：４人	評価できない：０人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え
---------------	----------	------------	-----------	--------------------

意見なし	—
------	---

### 基本施策3 観光振興について

令和6年度の成果		全体を通しての方向性		重要業績指標 (KPI) 観光消費額							
【1. 観光振興の推進】 ①観光消費額：2,505 百万円 ②入込観光客数：1,949 千人	・新型コロナにより落ち込んだ観光客数と観光消費額は徐々に回復してきたが、各関係団体等との連携を深め、第2期世羅町観光振興基本計画に掲げる4つの施策を推進していく。 ・世羅町観光振興補助事業を行い、イベント補助金、インバウンド対策事業補助金など、町内観光事業者に対する支援を実施する。インバウンド対策としては、台湾、韓国を中心とした東アジア圏からの誘客に係るPR活動などの施策を実施する。	(単位) 百万円	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		4000			3700	3700	3800	3900	3900	64%	C
		2000	2652	1828	1973	2352	2305	2505			
		0									

住民ワーキング会議からの意見評価	有効：2人	やや有効：1人	有効でない：0人	住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え
------------------	-------	---------	----------	------------------------

<p>【1. 観光振興の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光消費額の実績値が上がっている。</li> <li>●取り組み内容や支援策についてもっと発信すれば良い。</li> <li>●観光客の流れが観光農園や飲食店から、他業種へもう少しひろがればと思う。</li> </ul>	<p>① 第2期世羅町観光振興基本計画の目標達成に向けて、補助事業の見直しや補助事業の創設、観光事業者同士のつながりをサポートするなど、観光事業者等の様々な取組みに対し支援していきます。</p>
--	---

総合戦略推進会議意見・評価	評価できる：7人	やや評価できる：1人	評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え
---------------	----------	------------	-----------	--------------------

意見なし	—
------	---



基本目標Ⅱ 世羅町の魅力を活かし、若い世代を中心とした移住・定住を推進する													
【基本的方向】 移住定住促進を図るため、総合的な相談窓口を設け、住まい・仕事等ニーズに応じた情報を提供します。空き家バンク制度等を活用した移住定住相談や住宅の取得に向けた支援を行います。また、地域外の人材を積極的に受け入れ、関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。	数値目標		20 歳～39 歳の人口										
	(単位) 人	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価			
	3000 2000 1000 0	2442	2324	2241	2181	2133	2071		92%	B			
			2362	2322	2282	2242	2203						
	【総合戦略評価・意見】評価できる：1 人 やや評価できる：7 人 評価できない：0 人												
移住定住において、問合せ件数は多く、なぜ選ばれなかったのかの分析が必要。													
基本施策 1 移住定住に関する総合的な支援													
令和 6 年度の成果		全体を通しての方向性		重要業績指標（KPI） 移住者数（空き家バンクに限る）									
【1. ニーズに応じた移住定住支援】 ①空き家購入支援件数：6 件 ②空き家バンク新規物件登録件数：21 件 ③若年者遠距離通勤助成件数：44 件 【2. 移住者への情報発信の拡充】 移住相談件数：154 件 【3. 事前体験する機会の創出】 ①お試し暮らし利用回数：11 回 ②移住体験プログラム実施件数：4 件 【4. 関係人口の創出】 ①関係人口創出事業参加者数：5 人 ②地域おこし協力隊任用人数：1 人				(単位) 人	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
				30 15 0									
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0 人 やや有効：6 人 有効でない：0 人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え											
【1. ニーズに応じた移住定住支援】 ●現居住者に、将来空き家になった場合の利活用の意思を確認しては。 ●農業関係部署の職員が参加し、移住者と意見交換をしては。 ●空き家の情報を自治センターや町内業者と連携できないか。 【2. 移住者への情報発信の拡充】 ●ホームページの内容の更新が必要。 ●空き家バンクのホームページで物件の内部等がVR映像で見られない。 【3. 事前体験する機会の創出】 ●世羅での生活がイメージできる情報を YouTube で発信しているのが良い。 【4. 関係人口の創出】 ●里山ウェーブ参加者が、自主的に世羅に来てくれる。また、世羅の課題を見つけて取組むツアーを世羅高等学校 と連携して実施し、今後も続けるのが良い。		1. 自治センターで開催されているサロン活動において、出張空き家バンク相談会などを行い制度の説明など広報活動を行っています。空き家バンク制度が広く周知されるよう、町内自治センターをはじめ、様々な機会を通じて広報に努めます。 2. これからも移住者の方々にご協力いただき、世羅町の魅力を発信できるよう取組んでまいります。VR 内見については、家財が多く残ったままの物件が多いことから、今後の検討課題とします。 3. お試し暮らしや移住体験プログラムについては、具体的な世羅町での生活がイメージできることから、移住後の満足度を高めるためにも可能な限り実施に努めます。 4. 関係人口の創出について、世羅高等学校及び里山ウェーブ参加者と連携して「せらたび」を企画・実施を図ります。また、大見自治センターを拠点に関係人口創出を目的とした交流支援活動を行うため、地域おこし協力隊の募集を行います。											
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：0 人 やや評価できる：8 人 評価できない：0 人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え											
・過去 3 年の移住者数の減少理由は。 ・移住の決め手となるのは、どのようなことか。 ・移住者を増やすための取組内容は。		・コロナ禍であった。20 代は具体的なビジョンを持っているが、50 代は移住するまでにある程度検討され時間を要すため。(R6 相談件数 154 件) ・決め手は、丁寧な相談対応や、移住場所の近所の方の人柄など、一概には言えない。 ・移住希望者が思い描く地域とのマッチング。											
基本施策 2 快適な住環境の整備													
令和 6 年度の成果		全体を通しての方向性		重要業績指標（KPI） 新築住宅戸数									
【1. 快適な住環境の整備】 ①住宅リフォーム補助事業利用件数：45 件 ②飲用水施設整備補助件数：12 件 ③合併処理浄化槽設置基数：23 件				(単位) 戸	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
				100 80 60 40 20 0	72	65	75	75	75	75	75	48%	C
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0 人 やや有効：6 人 有効でない：0 人		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え											
【1. 快適な住環境の整備】 ●浄化槽・住宅リフォームの助成金があるのは助かる。 ●リフォーム補助金の補助率・補助上限額アップが必要。		1. 移住定住者の快適な住環境整備が支援できるよう事業を継続してまいります。リフォーム補助金について、補助率・補助上限額の引き上げ予定はございませんが、すべての利用希望者が当該年度に補助制度を利用できるよう、予算の確保につとめております。											
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：0 人 やや評価できる：8 人 評価できない：0 人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え											
意見なし		—											

※住民ワーキング会議からの意見	数値目標・重要業績目標（KPI）	評価	A 100%～	B～99%	C～69%	D～29%
青字 プラス評価	赤字 マイナス評価	黒字 その他		実績値	目標値	

**基本目標Ⅲ 結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を整備する**

<div>【基本的方向】</div> <div>結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子供を安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組めます。</div>	数値目標		合計特殊出生率							目標達成率	評価
	(単位) 人	H25 ～ H29 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	2	1.88	1.20	1.20	1.21	1.06	1.10	59%	C		
	1			1.88	1.88	1.88	1.88				
	0										
【総合戦略評価・意見】											
評価できる：4人    やや評価できる：4人    評価できない：0人											
合計特殊出生率は伸びてはいないが、一人一人丁寧な支援を行っている。合計特殊出生率を上げるには結婚の支援が重要である。											

**基本施策1** 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的な支援の提供

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI） 子育て世代包括支援センターの利用人数									
【1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】 ①②子育て世帯包括支援センターの利用人数7,530人 ③イベント参加人数：15人 【2. 保護者などの主体的な子育てへの支援の充実】 ①地域子育て支援拠点施設の利用延人数：699人 ②子育て情報77登録者数：637人 【3. 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】 ①保育料無償化（全額補助）延べ件数：1,426件 ②はぴはぴ祝金事業（出産祝金）：47人 【4. 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】 ①病児保育利用者数：218人 ②放課後児童クラブ登録者数：243人 ③放課後子供教室の開催地区数：4地区	1. ①②親子が気軽に集まれるフリースペースや相談ができる環境整備に努める。24 時間医師に相談できるアプリの運営を行い不安解消を図る。③世羅町移住・交流促進協議会と連携し支援。 2. 子育て親子が交流できる広場を検討し、育児不安や子育て負担の軽減や解消の支援に務める。 3. ①③継続実施により保護者の経済的負担の軽減を図る。②町の保育料（0～2 歳児）の無償化の継続実施により保護者の経済的負担の軽減を図る。令和7年度からの新規事業として、妊婦健診時の通院助成や子育て世帯転入助成、進学祝金など経済負担の軽減を図る。 4. ①公立世羅中央病院において病児・病後児対応型等の継続実施により保護者のニーズに対応するための支援、提供を行う。②放課後児童クラブを引き続き民間委託により安定的な雇用、良質なサービス等の提供を行う。③地域の主体的運営を支援する。実施地区拡大と内容の充実を図る。	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		5071	7180	7630	8594	8585	7530	7500	7500	100%	A

<p>住民ワーキング会議からの意見評価    有効：5人    やや有効：0人    有効でない：0人</p> <p>【1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「せらはぐ」や「子育て広場」で行う内容が、話すきっかけになり体験ものや一緒にできるものなどがあるのは良い。</li> <li>●世羅町へ移住した人や、就職された人へ助成金を交付しても良いのでは。</li> <li>●子育て支援課の窓口が施設の奥で行きにくい。</li> </ul> <p>【2. 保護者などの主体的な子育てへの支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今年改修予定の母子モのアプリで参加申込ができるようになるのは助かる。</li> <li>●「せらはぐ」のイベントに参加してくれる人が増えた。</li> <li>●話をするきっかけがあると仲間づくりにもつながるので子育て広場を続けてほしい。</li> </ul> <p>【3. 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育施設に子どもを預けられることで、就労でき、子どもの成長が促される安心感がある。</li> <li>●18歳までの医療費助成は、高校生まで利用でき、500円なのはとてもいい。</li> <li>●世羅中央病院の小児科の医師が毎回違うのが残念で、同じ事を何度もいうことになる。</li> </ul> <p>【4. 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世羅小の放課後児童クラブは体育館などで、夏休みに楽しく遊ぶことができた。</li> <li>●放課後児童クラブは、小学6年生までの受け入れはありがたい。</li> <li>●放課後児童クラブの要件が、同居の祖父母も働いていないと利用できなく残念。（父母のみの要件で良いのでは）</li> </ul>	<p>住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p> <p>1. ①②今後も切れ目のない支援のため、妊娠時からの関係性の構築を図り情報提供等継続して行います。また、子育て支援課の窓口に行きやすい環境整備に努めます。 ③移住者に対する住居の新築、空き家・空き地購入への助成、また、町内に居住する若年者への遠距離通勤に関する助成を行っています。移住定住に繋がる支援策を検討します。</p> <p>2. ①子育て親子が交流できる広場を継続実施し、子育て親子の交流、子育て等の相談支援に努めます。 ②母子モの機能拡充を行い、情報提供だけでなく広場等の参加申込みがアプリから行うことができるようにする等、保護者の負担軽減を図ります。</p> <p>3. ①乳幼児医療費及びこども医療費助成制度を今後も継続して行います。 ②保育料（0～2歳児）無償化を継続実施し、子育て家庭への負担軽減の支援に努めます。 公立世羅中央病院の小児科については常勤医師確保のため、ふるさと卒医師の配置希望を広島県地域医療支援センターに継続して行います。</p> <p>4. ②放課後児童クラブ利用の要件は、保護者が就労等により昼間家庭にない児童に対し行っているものであり、申立による条件により利用を認めております。また、継続して支援の質の維持向上に努めます。</p>
<p>総合戦略推進会議意見・評価    評価できる：8人    やや評価できる：0人    評価できない：0人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策内容は毎年評価が高い。</li> <li>・世羅町は、子育て世帯への補助金が手厚いだけでなく、必要な手続きが沢山あっても、丁寧な案内がありスムーズにできる。子育て相談にも丁寧に対応してくれる。</li> <li>・施策内容でなく、質が重要であり、世羅町は1歩抜き出ている。</li> <li>・合計特殊出生率が令和に入りシビアな状況であるが、数値の見解や、今後の施策の展開は。</li> </ul>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p> <p>・合計特殊出生率は、若い方の出生率が低下している。まずは結婚への取組も大事である。一人一人が健やかに成長することを支援するため、成長段階に応じた取り組みを行う。</p>

## 基本施策2 将来を担う若年世代の人材育成

令和 6 年度の成果		全体を通しての方向性		重要業績指標 (KPI) 世羅高等学校入学者数									
【1. 学習支援の促進】 ① 1人1台端末が学習ツールとして定着し、学習課題について主体的に情報収集して解決しようとする流れができた。また、ネット情報と学校図書館の両方を活用することができている。 ②導入に向けた研修を実施、司書を含め協議を行った。		1. ① ICT 化が進むことで授業の準備時間の削減や校務作業の効率化が図られ、教師が生徒に向き合う時間が増えることが期待される。町主催研修において効果的な指導方法について交流し、授業力の質の向上を図る。 ②電子図書コンテンツ拡充の状況を見ながら、図書館利用者のニーズを踏まえ、総合的に導入可能性を検討する。 2. IT 及び AI に関連した学習に関する支援。企業版ふるさと納税の活用等による支援。 3. 支援制度の情報発信。		(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】 世羅高等学校入学者数：106人				200								85%	B
【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】 返済制度支援者数：0人				150									
				100	109	111	124 110	115	120	125			
				50				79	89	106	130		
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：4人 有効でない：0人				住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									
【1. 学習支援の促進】 ●1人1台端末機は、誰でも使えるので素晴らしい施策。 ●将来Uターンするように児童生徒へ取組みが必要。 ●電子図書を必要としている人は、自分自身で他のサービスを利用しており、町独自の電子図書館は必要ない。		【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】 ●世羅高等学校への支援に関しては良いものばかり。 ●世羅高等学校への支援内容について、町からの周知も必要。 ●町からもこの支援により、どれだけ入学者が増えたか把握が必要。		1. ①引き続き、1人1台端末による学習支援を行うとともに、より効果的な活用ができるよう取組みます。地域の特色を生かした「ふるさと学習」において郷土への誇りをもった人材を育てます。 ②図書館機能の充実を図るため、その要素の一つとして研究及び検討を継続します。 2. 支援内容について、近隣自治体の取組みを参考に世羅高等学校と連携しブラッシュアップを図ります。周知について、これまで世羅高等学校を通して進路説明会・オープンスクール等で行っていましたが、今後、町のホームページや広報誌等でも周知を図ります。取組成果についても、アンケート等により把握に努めます。 3. 事業者が若年者を中心とした人材の確保が出来るよう、引き続き周知を行うとともに、より有効な制度の検討を行ってまいります。									
【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】 ●町が独自の制度を作った方が良い。 ●制度のハードルが高いため対象となる企業が無い。													
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：2人 やや評価できる：6人 評価できない：0人				総合戦略推進会議意見に対する町の考え									
・様々な学習環境の支援等を行い、世羅高の良さを伝えている。 ・入学者数が徐々に伸びており、中山間の厳しい地域であるが健闘されている。 ・世羅高入学者数 R4 年度に落ち込んだ要因は。 ・入学者数の町内外の割合の傾向は。 ・公共交通による通学手段は何か。				・R4 の入学者の落ち込みは、町外中学校からの入学者が大幅に減少した。特に大和中学校からの入学が少なかったが、原因は不明。 ・R6 実績は、106 名のうち、町内 61 名、町外 45 名で、概ね 6 割が町内中学校からの入学者数である。町内中学校の卒業生の内、概ね半数が入学している。 ・世羅西地区の生徒は、主に朝 1 便夕方 2 便のせらまちタクシーを利用しており、近年は世羅西地区からの入学者も増えている。大見地区は路線バスが 1 路線、町外からは路線バス（高速バス）4 路線で通学している。									



**基本目標Ⅳ 質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する**

<b>【基本的方向】</b> 住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、高速大容量の通信網を整備し、ICTによる地域課題解決・地域活性化の実現を図ります。また、交通ネットワーク及び医療体制の充実を図ります。さらに、住民が主体となった地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを支援することで、協働のまちづくりを推進します。	数値目標		社会増減数							目標達成率	評価
	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	0								16%	D	
	-50										
	-100	-43	-67	-30	-24	-18	-11	-4			
	-150			-122	-46	-77	-70				
<b>【総合戦略評価・意見】</b> 評価できる：6人 やや評価できる：2人 評価できない：0人											
インターネット環境の整備を行い生活基盤の向上を図れた。公共交通機関の利用券電子化を進めることで便利になる。											

## 基本施策 1 情報通信基盤の整備

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI） ケーブルテレビのインターネット加入率									
【1. 情報通信基盤の整備】 ケーブルテレビのインターネット加入率：53.3%	・加入率向上のため、より一層の周知に努める。	(単位) %	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
		100 50 0	36.1	37.8	52.7 46	51 47	52.2 48	53.3 49	50	109%	A
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：1人 有効でない：0人	住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え										
【1. 情報通信基盤の整備】 ●ケーブルテレビの加入率が目標値よりも高い。 ●将来的にはスターリンク等の衛星通信インターネットの市場拡大に任せても良いのでは。 ●中心部以外はケーブルテレビしか来ていない。	1. ケーブルテレビのインターネットに加入することで得られるメリットについて、運営事業者と協働してPRに努め、加入者増を図っていきます。また、衛星を経由したインターネット通信については、家庭用として普及するまで一定の時間を要すると想定でき、それまでは光ファイバー網を基盤としたインターネット通信環境を維持していく必要があるものと考えています。										
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：8人 やや評価できる：0人 評価できない：0人	総合戦略推進会議意見に対する町の考え										
・若い世代や起業するような方にどのような影響があったか。	・インターネット環境の向上ができ、加入率が増えた。企業より環境整備ができたと思った。 ・企業より、送受信に掛かる時間が短くなり助かったと聞いている。										

**基本施策 2** 地域公共交通ネットワークの充実

[illegible]

**基本施策 3** 医療体制の充実

令和 6 年度の成果		全体を通しての方向性		重要業績指標（KPI） 公立世羅中央病院常勤医師数									
【1. 医療体制の充実】 ①オンライン診療実施医療機関数：1 件 ②公立世羅中央病院常勤医師数：14 人 (R6. 4.1 時点)		・救急相談センター事業（＃7119）や子育て世帯向けアプリ「いつでもドクター」の利用により、安心・安全を住民に提供するとともに、救急搬送件数や医療機関への問合せ件数を削減し、救急車の適正利用や救急医療機関受診の適正化を図る。 ・安定した医療サービスの提供を継続していくため、公立世羅中央病院の人員確保や施設整備の取組への支援を継続的に行う。		(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
				30							88%	B	
				20	14	13	16	16	16	16			16
				10									
				0									
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2 人 やや有効：0 人 有効でない：0 人				住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									
【1. 医療体制の充実】 ●＃7119 は、ありがたい。 ●24 時間 365 日とさえ話せる相談ができるのはとても良い。(特に一人暮らしの高齢者) ●いつでもドクターは期待している良い取組み。対象が高校生まで広がってほしい。 ●公立世羅中央病院は診療科によっては、毎日ではなく曜日が限定されている。				1. 24 時間 365 日、誰でも利用できる救急相談センター事業（＃7119）や中学生までの子どもがいる世帯向けのアプリ「どこでもドクター」の利用促進のため、これらの事業の周知を図ります。 2. 公立世羅中央病院が安定した医療サービスの提供が継続できるよう、必要な取組への支援を継続します。									
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：8 人 やや評価できる：0 人 評価できない：0 人				総合戦略推進会議意見に対する町の考え									
意見なし				—									

**基本施策 4** 元気な地域づくりの推進

令和6年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI） 元気な地域づくり応援事業実施件数										
【1. 元気な地域づくりの推進】 令和6年度助成件数：2件 【事業費：1,833,968円、補助額：1,550,000円（うち、ふるさと納税：1,550,000円）】 （令和6年度は、令和7年度に実施するプロジェクトを募集したところ5件の応募があり、そのうち4件を採択し、寄付を募った結果4件とも成立した。 【事業（補助）予定額：3,980,000円、うち、ふるさと納税：3,365,000円】	・令和6年度に成立したプロジェクトがスムーズに取組めるよう助言を行う。 ・令和8年度実施のプロジェクトの募集を開始する。 ・プロジェクト規模の大きさに関わらず、多くの団体から申請してもらえるよう制度の周知に努める。 また、企業版ふるさと納税の掘り起こしに注力していく。	（単位）件	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価	
		10									25%	D
		5			2	4	6	8	10			
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：0人 有効でない：0人		0		0	0	0	3	2				
【1. 元気な地域づくりの推進】 ●イベントの質等が向上し、町や事業実施地域において経済面等で還元されているので、とても良い。 ●これからも続けてほしい。 ●寄付した団体企業等に、名誉等のメリットを付与したら、より継続的でより拡散性があると思う。		住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え										
		1. 元気な地域づくり応援事業については、町としても可能な限り事業を継続し、地域の魅力アピールや地域経済の活性化、地域の認知度向上などにつなげていきます。また、ご協力いただいた企業様をパンフレット等実施事業内でご紹介させていただくことで、継続してご支援いただけるよう取組みます。										
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：7人 やや評価できる：1人 評価できない：0人		総合戦略推進会議意見に対する町の考え										
・右肩上がりの目標設定でなくてもよいのではないか。		多くの地域団体に本事業を申請及び実施していただきたいと考えている。										